



平成 28 年 5 月 26 日

各 位

会 社 名 長 野 計 器 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 依 田 恵 夫
(コード番号 7 7 1 5 東証第一部)
問 い 合 せ 先 執 行 役 員 経 理 部 長 角 龍 徳 夫
(TEL 0 3 - 3 7 7 6 - 5 3 3 3)

『中期経営方針』のお知らせ

当社は、2016 年度(平成 29 年 3 月期)を初年度とする中期経営方針の概要を開示することといたしましたので、その内容についてお知らせいたします。

長野計器株式会社は、圧力計測・制御分野でのリーディングカンパニーとして「環境・保安・安全」をお届けすることを使命とした製品の提供を通じ、社会貢献を継続することをグループ全体の経営目標としており、日本及び米国を主要拠点としたグローバルな展開を行ってまいります。

1. 外部環境の展望

当社グループを取り巻く 2016 年 5 月時点での外部環境は、全体として停滞状況にあります。日本及びアジア圏の経済環境は、急激な円高の影響と中国を中心とした経済の減速による停滞状況にあり、当分この状況は続くものと見ております。

米国及び欧州においては、根底にある地政学的リスクが顕在化している状況にあり、また、オイル・ガスを中心とするエネルギー市場においては、原油安を背景とした設備投資の減退は当分続くものと見ております。

2. 中期経営方針の策定

長野計器グループが創業以来培い「強み」としている圧力計測技術と製造技能を研鑽し革新することで独自の付加価値を生み出し、新たな製品の開発と市場の創造を行うことといたします。

「中期経営方針」は期限を区切った固定的な定量目標とせず、3 年程度先を想定した主要指標のガイドラインを示しつつ、事業環境の変化に応じてローリングしていく方針です。

3. 長野計器グループの事業内容

長野計器グループは、圧力計・圧力センサ等の精密機器製品の製造・販売を主な事業としております。

事業別の主要製品及び事業内容は次のとおりです。

事業区分	主要製品・事業内容
圧力計	圧力計、圧力スイッチ、温度計
圧力センサ	圧力センサ
計測制御機器	空気圧機器、エアリークテスター、圧力試験機、圧力発生器、流量計、熱量計、油圧ポンプユニット、その他用途開発製品
その他事業	自動車用電装品、電源製品、ダイカスト製品、不動産賃貸

主要事業の持続的成長を続けるための施策

圧力計事業 … 産業の発展に伴う計測用途の拡大と、測定圧力レンジの高圧化・高精度化に対応する開発を継続する。

また、グローバル展開においては、各種国際規格取得製品のラインナップを進めております。

圧力センサ事業… 工業計測のスマート化(IoT 等の将来技術への対応)に伴う計測用途の拡大と高圧化・高精度化は、圧力計と同様に開発を継続すると共に、各種国際規格取得製品のラインナップを進めてまいります。

次世代の検査・診断システムとして注目されております光ファイバーを用いたセンシング技術の光ファイバー(FBG)センサの開発を進めてまいります。

更に自動車、建設機械関係では、燃料電池車・電気自動車の台頭により測定方法の変化が見込まれて行く中で、圧力センサ素子の歪検出技術の応用に力を注ぎ、ブレーキ踏力や建機のアーム制御等に使用する荷重センサの開発を進めてまいります。

また、北米市場における圧力センサの拡大に注力してまいります。

計測制御機器事業… 圧力計・圧力センサの応用製品事業としての位置付けであります。圧力計測の専門メーカーとして市場ニーズへの適時的確な対応を行ってまいります。

その他事業 … グループ各社の特色を生かした事業展開を積極的に推進してまいります。

4. 「中期経営方針」の概要

持続的成長を目指した「企業価値向上経営」を目標とし主要指標のガイドラインに沿った事業推進により、持続的な成長に向けた十分な投資を可能としつつ、株主を始めとするステークホルダーの期待に応えてまいります。

圧力計測分野(圧力計・圧力センサ)

- ① 以下の分野を重点拡販分野ととらえ高付加価値化、差別化を基軸とした製品開発の促進により、新たな市場の創造を行ってまいります。
 - ・ 医薬、化粧品、食品分野
 - ・ 水素エネルギー分野
 - ・ 産業機械分野
- ② グローバル展開の一つとして、欧州市場の拡大を目的に合弁会社として設立した拠点の活用を図り、自動車・一般産業分野へ圧力センサ事業の拡大を図ってまいります。自動車分野におけるモデルチェンジサイクルに合わせた新製品開発を行い、生産方式として「インダストリー4.0」構想による自動化投資を実施してまいります。
- ③ 資本コストを踏まえた経営方針として、ROE（株主資本利益率）を重視した収益力の強化を目指してまいります。
- ④ 計測機器業界が直面している国際レベルでのM&Aの動向を注視しながら、長野計器グループの圧力計測を基軸とした「選択と集中」策を推進してまいります。

<主要指標の考え方・ガイドライン>

	2015年度実績 (2016年3月期)	2016年度計画 (2017年3月期)	3年程度先を想定したガイドライン
	(百万円)	(百万円)	
売上高	44,949	43,960	<ul style="list-style-type: none"> 既存事業 日本・アジア … 1桁台前半の低成長 米国・欧州 … 原油安による設備投資の低迷は、 2017年まで継続、回復は2018年見込み
営業利益	1,933	1,730	
経常利益	2,077	1,840	<ul style="list-style-type: none"> 新規事業 2018年度より自動車用圧力センサが始動見通し。
ROE	7.6%	6.3%	<ul style="list-style-type: none"> ROE (株主資本利益率)の目標を8%以上とする。

売上高 (単位: 億円)

利益 (単位: 億円)

